

検査Ⅳ 音 楽

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

1 次の文章は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)「芸術 第2款 第1 音楽Ⅰ」より「1 目標」「2 内容」からの抜粋である。以下の問に答えなさい。

1 目 標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な(a)を働かせ、(b)の中の音や音楽、(c)と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の(d)や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の(e)について理解するとともに、創意工夫を生かした(f)をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) (g)をもって(f)を創意工夫することや、音楽を(h)しながらよさや美しさを自ら味わって(i)ことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、(c)に親しみ、音楽によって(b)を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 内 容

A 表 現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、(g)をもって歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり

(イ) (j)と曲種に応じた発声との関わり

(ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴

ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、(A)などの技能

(イ) (B)を意識して歌う技能

(ウ) (C)の特徴を生かして歌う技能

検査Ⅳ 音 楽

- (1) (a) ~ (j) に入る適当な言葉を答えなさい。
 (2) 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能とは何か。
 (A) ~ (C) に入る適当な言葉を答えなさい。

2 日本音楽史について述べた次の文を読み、問いに答えなさい。

古代国家が誕生すると、宮廷儀礼に用いる各地方の歌舞が集められるとともに、飛鳥時代から平安時代初期にかけて A 三国楽（百済楽、新羅楽、高麗楽）、唐楽、林邑楽、渤海楽 が積極的に取り入れられた。これらの楽舞により日本の音楽文化は一変した。多数の楽器が用いられ、体系だった組織によるその楽舞は、日本の音楽文化に大きな影響を与えることとなり、外来の楽舞は、在来の歌舞とともに当初（ あ ）（「うたまいのつかさ」とも言う）で管理された。

平安時代に、舞楽はその由来によって（ い ）（中国系）、（ う ）（朝鮮系）に分けられ、特定の演目を組み合わせる（ え ）と呼ばれる上演形態が確立した。宮廷歌謡も発達し、諸国の民謡等を大陸風の旋律に編曲した（ お ）、漢詩文の一部に節をつけて吟唱する（ か ）などが盛んに歌われた。こうした平安時代の宮廷音楽は今日（ き ）と総称される。

室町時代末期には B 箏曲 が確立され、生田流・山田流などの流儀が生まれた。

- (1) (あ) ~ (き) に入る適当な語句を語群から選び記号で答えなさい。

【語群】

ア 右方	イ 催馬楽	ウ 雅楽寮	エ 雅楽	オ 左方
カ 番舞	キ 朗詠			

- (2) 傍線部 A の 4 つの楽舞を「朝鮮半島系」「中国大陸系」に分類しなさい。
 (3) 傍線部 B について答えなさい。
 ① 箏曲の代表的な作品『六段の調』の作曲者名を正しく漢字で書きなさい。
 ② ①の作曲者が確立した、「都節音階をもとにした箏の調弦法」の名称を正しく漢字で書きなさい。
 ③ 別紙 1 の〈表 1〉のカタカナ部分を「唱歌」と言う。読み方を平仮名で書きなさい。
 ④ 別紙 1 の五線譜は〈表 1〉を五線譜に書き改めたものの一部分である。〈表 1〉を参照し 2 小節目の括弧内に当てはまる音符を、解答欄の五線紙括弧内に正しく記譜しなさい。ただし、一の糸をカタカナ 1 点二音とする。

検査Ⅳ 音 楽

3 西洋音楽史について述べた次の文を読み、問いに答えなさい。

16世紀末から1750年ころまでの間を、バロック時代と呼んでいる。

この時代の音楽では、歌詞のもつ情緒や感情の表現が重んじられ、独唱を（あ）で伴奏するモノディーが生み出された。また、2つあるいはそれ以上の合唱隊や楽器群が掛け合いながら対比と調和を創ってゆく（い）が重要となった。声楽ではオペラ、オラトリオ、カンタータが生み出され、器楽では17世紀後半に（う）（英；suite）等が完成された。

オペラで代表的なものは、1607年、マントヴァで初演されたモンテヴェルディの（え）である。場面展開と登場人物の心理に密着した音楽表現は、以後のオペラに多くの影響を与えた。カンタータは劇場用の作品でなく、衣装や演技を伴わない。特に宗教改革以後、プロテスタントが主流だった中・北部ドイツでは①教会カンタータが典礼の重要な部分を占めた。これにはルター派の（お）（衆賛歌）の歌詞や旋律が用いられることが多い。②オラトリオは16世紀後半の反宗教改革の波の中、ローマの祈禱所で行われた私的な祈禱集会で歌われたラウダや宗教的対話に始まる。

器楽では（う）以外にも新しいジャンルが生み出された。ソナタはイタリア語のソナーレ（鳴り響く、演奏する）を語源とし、カンタータ（声楽曲）に対して器楽曲を表す言葉として使われ始め、編成の点からトリオ・ソナタとソロ・ソナタに分けられる。また、楽章構成の点から（か）ソナタと（き）ソナタに分けられる。（か）ソナタは緩—急—緩—急の4楽章、（き）ソナタは舞曲からなり③アルマンド、クーラント、サラバンド、ジークなどを含んでいた。

(1) (あ)～(き)に当てはまる言葉・作品名等を書きなさい。

(2) 傍線部①②について答えなさい。

①の代表的な作曲家はJ.S.バッハ、②の代表的な作曲家はG.F.ヘンデルである。以下の作品群の中から「バッハの作品」「ヘンデルの作品」を選び、記号で書きなさい。

【作品群】

- a.メサイア b.平均律クラヴィーア曲集 c.マカベウスのユダ d.マタイ受難曲
e.アルミーラ f.心と口と行いと生活で g.奥様になった女中 h.リナルド i.クセルクセス

(3) 傍線部③について答えなさい。

この4つの舞曲を次のカテゴリーに分け、表の空欄に当てはまる舞曲名を書きなさい。

テンポの速いもの	
2拍子または4拍子のも	
スペイン起源のもの	

検査Ⅳ 音 楽

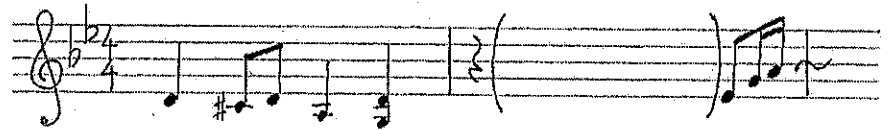
4 別紙2 楽譜を見て問いに答えなさい。

- (1) あ、い、う に示す和音の種類を書きなさい。
- (2) え、お、か に示す和音の所属する調を日本語で書きなさい。
- (3) き に示す2つの拍子記号の違いを簡単に説明しなさい。
- (4) く で示した音について答えなさい。
 - ① この音をイングリッシュホルンで演奏した時、実際に聴こえる音名をドイツ語で書きなさい。
 - ② ①の音を属音とする長調の下属音は、くで示した音との関係において何と呼ぶか。「～的音程」という言葉で書きなさい。

別紙 1

〈表 1〉

(五線紙)



別紙2 楽譜

あ *Più mosso*

ppp *una corda*

ppp *poco a poco cresc.* *cresc. molto*

ff *poco rit.*

a tempo *p*

p *cresc. molto*

あ き う え お か

Z.15 500